

42号 2007年

夏号

2007年7月1日発行

おはなし りぼん

NPO市民ユニットりぼん

八王子市横川町1166-2メゾンさつきの101号 Tel.042-621-4781

発行責任者 大森 一美

URL <http://www10.ocn.ne.jp/~ribo>

目 次

- 子ども家庭支援センターを訪ねて・2～3
- りぼんメッセージ・4
- 利用者アンケート・5
- ひだまりトピックス・6
- 健康ひろば・7
- インフォメーション・8

子ども家庭支援センターを訪ねて

元八王子事務所二階にある地域子ども家庭支援センター元八王子を訪ね、館長である小澤さんに色々お話を伺いました。

正直、話を聞くまでは『単なる小さな子どもとお母さん達の憩いの場』としか思っていませんでした。

しかし実際は核家族化の問題などで、孤立化した子育てを行っているお母さんが多く、子ども家庭支援センターの役割を理解できました。その中でも『子供や高齢者問題は地域の係わり次第で減らせるのではないか』『何かのきっかけになる場所でありたい』小澤さんの強い思いを感じました。

地域の係わりとは、例を上げてみると簡単な事です。私の友人が毎朝通学する子供を途中まで送って行くのですが、いつも会う子供が一人、「おはよう」と声を掛けても返事が無かったのですが、毎日声を掛け続けて一週間、小さな声で「おはようございます」友人はとてもうれしかったそうです。これこそ地域の係わりだと思います。

はじめての子育ては何もかもわからない事ばかり、

ましてや相談相手が居ないお母さんにとっては毎日不安な事ばかり。子ども家庭支援センターではそんなお母さんの相談にも乗ってくれます。そうです。

しかし子ども家庭支援センターの職員は全体で三十六名、そのうち地域子ども家庭支援センターは五箇所それぞれ五名で、多い人数とは言えませんが、相談内容はさまざまですが、ちょっとした助け合いの気持ちと協力で五名の相談員が十人にも二十人にもなるのです。

子供達、高齢者達が色々な事に巻き込まれる世の中から手をつないで助け合う世の中にする為には『小さな一歩』を踏み出す勇気だと感じました。『身近な所で見守り寄り添う支援センターでありたい』小澤さんの言葉が心に響きました。

比嘉 容子



地域子ども家庭支援センター元八王子



明るいプレイルーム



《八王子市子ども家庭支援センターの業務内容》

『子ども家庭総合ケースマネージメント事業』

- ・子どもと家庭に関するあらゆる相談・専門家によるボランティア相談

『要支援家庭サポート事業』

- ・一時保護又は施設措置等を行った児童が家庭復帰した後の家庭への支援
- ・児童虐待の予防的支援
- ・養育が困難な家庭に対し育児・家事の支援

『親子ふれあい広場』

- ・子育て講座やサークルなど親子の交流場所として提供



二〇〇七年度定期総会を終えて

昨年4月の介護保険制度改正が行われ利用の適正化が図られ（実質、利用に制限が加えられ）たことで影響して訪問介護部門においては利用が伸び悩みました。それに反比例してA・C・T自立援助サービス（会員制）の利用が増加しました。

居宅介護支援と通所介護部門でも入院や家族の介護疲れのため施設への入所を希望される方が多く利用が減少し、経営的には厳しい状況が続いています。

そんな状況ではありますが、今年度もこれまで以上に各部門とも「特色ある良質のサービス」の提供を目指していきます。

又良質なサービスを提供していくために、職員が気持ちよく働ける職場、やりがいのある職場作りを常に心がけていきます。

更に、今年度は「認知症を知り、地域をつくる」キャンペーンに賛同し、「認知症になっても安心して暮らせる町づくり」のための活動を推進していきます。

最後まで住み慣れた地域で自分らしく暮らしていける社会を目指し、微力ではありますがこれからも着実に活動を続けていきます。

★利用者代表理事として四期八年に渡り当法人の運営にご尽力頂きました嶺学さまと花岡妙子さまが二〇〇六年度をもって退任されました。

会員一同心より感謝申し上げます。



りぼんメッセージ

総会後の会員交流会は、上村さん指導の自立支援体操で始まりました。座り通して凝った身体を、まずは気持ちよくストレッチ。それから美味しいお弁当をいただきながら、新理事、各部門のスタッフ、A・C・Tサークル、お辞めになる方などの紹介が続きました。

後半は、「十年後のりぼん」という題でグループディスカッション。日常から少しはみだしての言いたい放題でしたが、現実的な構想を練るグループもあり、様々な議論を展開するグループもあり、様々でした。

今日は、日頃めったに会わない方と一緒に楽しいひと時を過ごすことができ、りぼんは人と人との結びつきで成り立っている団体なのだな、と再確認しました。

会員交流会実行委員長 森 明子



利用者アンケートにご協力いただきましてありがとうございました！
アンケート集計結果(ダイジェスト版)をご報告いたします。

<訪問介護>	「はい」の割合
1. 訪問介護の計画にあなたの意見が反映されていますか？	90%
2. ヘルパーはあなたの意向を大切にされた介護を行っていますか？	92%
3. 事業所に連絡したときの対応は親切、丁寧ですか？	93%
4. あなたのサービスの利用料金はわかりやすく書かれていますか？	91%
5. 事業所はあなたの介護サービスに関連する情報を提供してくれますか？	65%
6. あなたの苦情や相談事に誠意をもって応えてくれますか？	60%
7. あなたの緊急な事態に対応してくれますか？	89%

<通所介護>	
1. 施設や設備は安全、快適で使いやすいですか？	68%
2. 職員の言葉や態度は丁寧親切ですか？	93%
3. あなたの要望や意向は大切にされていますか？	84%
4. 日中の過ごし方は自分で選べる楽しみが用意されていますか？	80%
5. 車での送迎は安全が充分配慮されていますか？	93%
6. 食事は味や調理法を含め満足ですか？	90%

<居宅介護支援>

1. 担当マネージャーの態度は満足できますか？	95%
2. 身体や生活の変化への対応は満足ですか？	91%
3. 利用料金についての説明や情報提供は充分されていますか？	81%
4. 事業所の対応は親切で適切ですか？	94%
5. 苦情や相談には適切に対応してくれますか？	69%

<たくさんのご意見、ご要望をいただきました。改善した一部を報告します。>

- ★「ケアマネにはEメールによる連絡も可能にしてほしい」というご要望をうけて希望者にはEメールアドレスを伝え、いつでも手軽に連絡できるようにしました。
- ★「苦情・相談はどこに言えばいいかわからない」というご意見をいただきました。苦情・相談についての流れは契約書に記載されていますが、今後もう少しわかりやすく書いたものを作成し、お渡しします。
- ★「事故・損害に関する保障の仕組みの説明が不十分」との指摘を受けました。分かりやすいパンフレット等の作成を検討します。
- ★「通所（デイサービス）施設が安全で快適か」との質問に「はい」と答えて頂いた方は7割弱でした。今後利用者の皆様のご意見を参考に点検、改善を図っていきます。
- ★「利用者アンケート集計結果」の全文は、当法人ホームページに掲載予定です。

「ひだまりの家の庭作りボランティアを始めて」

三年くらい前、「ひだまりの家」の夏祭りのお手伝いに伺った時初めて庭を見ました。利用者の皆さんがよく見る庭を、もっときれいにしたいと思いました。

主人に手伝ってもらい硬い土を掘り起こし、植物に詳しい他のボランティアの方と徐々に枝を切ったり草を刈って花や野菜を植えてきました。

庭で御茶を飲んだり、くつろげたらもっと楽しいと思い椅子とテーブルもできました。

毎月第三金曜日、二時から、わいわいと楽しくやっています。

お時間がありましたら、是非お出かけください。仲間が増えたらとても嬉しいです。

志村 禮子



夏場は草取りが大変



ディサービス「ひだまりの家」トピックス



庭にテーブルと椅子を作ってもらいました。



ひだまりインフォメーション

毎週第三金曜日午後二時から午後三時

★『ひだまりの庭作りボランティアさん』が活動しております 是非ご参加下さい。

(十二月・一月・二月はお休みです)

★十二月一日(土) 午前十時から午後二時
ひだまりの家にて『文化祭』を予定しております。

ひだまりの家での作品や写真など展示させていただきます。皆さんと作った味噌や梅干なども少し召し上がっていただきとうと思っています。ご家族の交流の時間となりますので是非、いらして下さい。

『自然を楽しむ会』

ACTいきいきサークルの活動としてすでに囲碁
絵画、ミニコンサートなど活動していますが、新し
いサークル活動が始まります。野山や街を散策し自
然に親しみ健康増進と親睦が図ればとの目的で計
画しました。

事の始まりはりぼん職員の雑談の中で「何処か出
かけたいね」の一言から「私、計画するから行きま
しょうよ」と会話が弾みとんとん拍子に話が進いま
した。幸い職員の中に散策が好きであちらこちらと
出かけ知識も経験も豊富な方が居ますので協力を得
て楽しい活動にしたいと考えています。

八王子付近には風光明媚な個所も多い様に思いま
す。また歴史に触れるのも良いのではないのではし
ょうか。

まずは、我が街八王子近辺を知ろうとの思いで、
六月の中旬に城山方面への散策を計画しています。
梅雨の晴れ間に当たればと願っています。

内山 明美



『囲碁クラブ』

第二土曜日 一三時三十分～十六時

現在の会員は八名です。(小学生から大人まで)
初心者大歓迎! 毎回楽しく活動しています。
百円会費も魅力的です♪

『アトリエ友』

第四土曜日 一三時三十分～十六時 (会費二百円)
水彩・水墨画など、絵を描く事の好きな方なら
上手下手は問いません。参加をお待ちしています。
お子様連れ参加もOK☆★来て見て下さい!



2007年 4月実績	人数	時間
ホームヘルプ ACT	18人	268.0
訪問介護 訪問予防	27人 14人	352.0 98.0
障害福祉s	12人	295.0
通所介護 通所予防	17件 4件	
ケアプラン	42件	



インフォメーション

ACT公開講座

【認知症になってもだいじょうぶだいじょうぶ】

日時：7月28日（土）（時間未定）

場所：ひだまりの家



つぶや記

最近ではマスコミが人間の生き方や物の考え方まで流行を作って、その生き方をまたそういう考え方をする方が新しいと言われたりカッコイイ生き方だと考えられたりする傾向があるのではないのでしょうか。

人生をスカートの長さやヘアスタイルの様に考えたくないです。何千年もの長い年月を生きて来て、その積み重ねから人間を一番幸せにする基本のようなものが出来上がって来て、それから今日まで続いているものなら、それは人間と言う動物の本質的なものだとも言えるのではないのでしょうか。だからちょっとした興味本位な思いつきや、無責任に作り上げられた風潮で「そんなの古い」と片付けてしまえないものも沢山あるはずですよ。

「いつまでも古くならないもの」それこそがむしろもっとも「新しい」ものだとは言えないのでしょうか。 道子